

2024年4月のブルーベリー農園その1

春が深まったのか気温が15度以上の日が続きサクラの花があちこちで見られるようになった。野の花も農園に行くたびに咲く種類が

増えてたり、満開状態になったりと目の保養になっている。アマガエルも外に出てきたし、キジも元気に鳴いている。東広島市豊栄町のブルーベリー農園に安芸区の自宅から通ってブルーベリーの剪定を続けている。里道の草刈りも始まった。



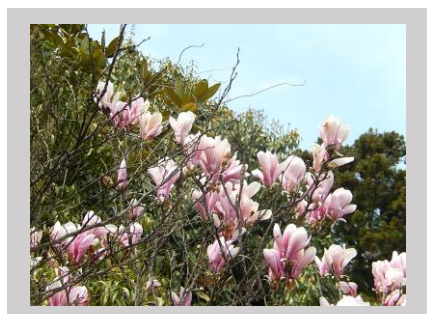
4月2日(火)

農園について車を降りたらブーンという音が聞こえた。見るとクマバチだった。早速スズメバチの捕獲機を2か所にかけた。中身は砂糖たっぷりの甘い酢で穀物酢とブルーベリー酢。



4月4日(木)

畑のブルーベリーの剪定を続けているが、太い枝を切ってみると真ん中が枯れかかっているものもある。これも枝の更新の目的の一つ。



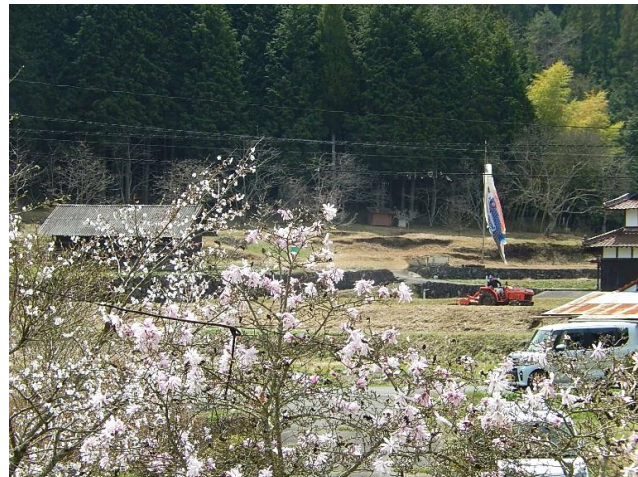
4月5日(金)

ブルーベリーの剪定した枝の野焼きは細いを先に焼いていく。



4月6日(土)

農園のサクラ(右)とシデコブシ(左)。



近くの農家に鯉のぼりが上がり、手前の田んぼでは代掻きが始まっている。



ブルーベリー畑の春の野の花のお目見え。

①カキオドシ (4月5日)



②ムラサキゴケ (4月6日)



④草の緑の中のツクシ (4月6日)



⑤スイセンが満開 (4月6日)



4月6日(土)

4月下旬から5月の連休には農園の周囲の田植えが行われる。最初の代掻きのあと水をため出した田んぼもある。

2024年4月8日

社会福祉法人安芸の郷

理事長 遊川和良

《2024年4月8日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》

